

伝建制度について

～重伝建選定から10年が経過し、
知っておいてほしいこと～

湯浅伝建地区は、醤油醸造などの商工業を中心に発展した町で、16世紀末ごろから開発されていった地割が良く残され、そこに本瓦葺の主屋や土蔵などが建ち並び重厚で落ち着いた風致のある歴史的風致をよく伝えているとして、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。伝建制度は、これらの特徴を維持・向上させるためにあります。

重伝建選定から10年が経過し、今一度伝建制度への理解を深めていくため、今号より数回にわたり制度についての解説を連載いたします。

現状変更行為って??

湯浅独自の歴史と文化が作り上げてきた伝統的な町並みの景観を損なわないようにするため、建物や塀、看板など景観の要素となるものについて、「歴史的景観を損なうものは新たに作らない」というルールがあります。現状変更行為とは、今ある状態の建築物や工作物の形や色を変える行為のことをいい、行為の方法によっては歴史的景観を損なう可能性があります。そのため、ルールに照らし合わせて適正かどうか確認するため、町に対して現状変更行為許可の申請が必要となっています。これは保存地区内すべての物件を対象とするものであり、伝統的建造物として特定していない建物等についても現状変更行為の許可の申請が必要ということに注意が必要です。外観の変更がある工事をする場合は役場に相談するようにしましょう。

現状変更の例（通りに面した塀の修景 ブロック塀を板塀に変更）



湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

半邊 宗五 楠山 吉雄
油谷 太一 妻木 良三
阿瀬 雅晴 道津 節子

まちなみ瓦版

■平成29年11月 1日
■第36号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：木下 智之

活動報告

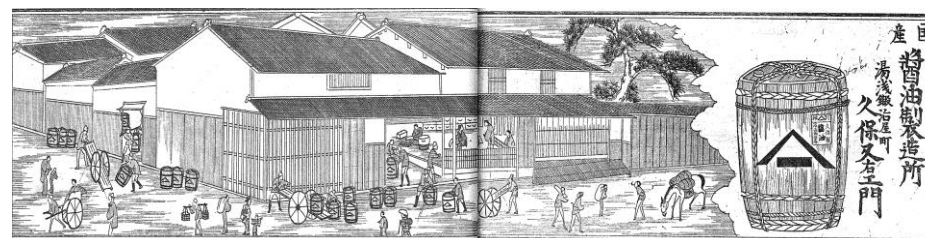
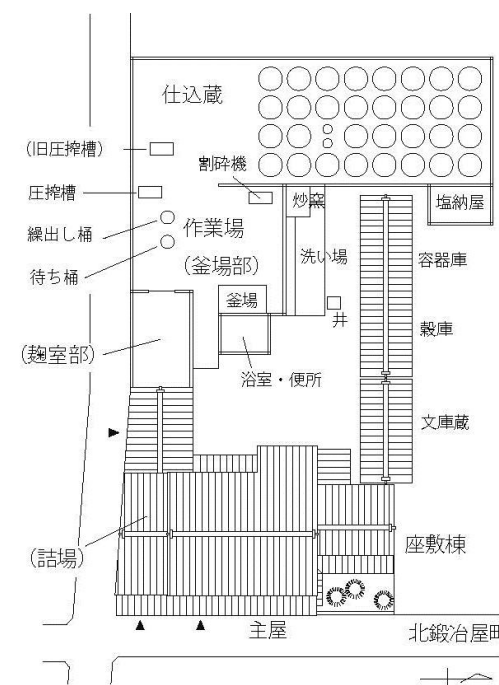
まちなみ整備部会 旧栖原家の草刈を実施しました

10月28日(土)旧栖原家のお庭の草刈を実施しました。保存協議会以外にも、元の所有者の栖原様、ヘリテージマネージャー修了生、和歌山県建築士会、湯浅まちなみの会、湯浅町からボランティアで21名が集まり、今後のまちなみ整備の拠点となる旧栖原家の整備を行いました。



栖原家の歴史について

栖原家は山形屋六代久保瀬七が嫡男又右衛門のために明治7年(1874)に建てた醸造場である。瀬七は明治4年(1871)には醤油醸造元添行司を司っており湯浅でも屈指の醸造家であった。明治18年(1885)発行「有田郡名勝豪商案内記」(下部絵図)には主屋から仕込蔵に至る一画が描かれている。山形屋全盛期に建てられた建物は作業場の配置なども効率を考えて配置されていた(右図)。315坪(約1000㎡)ある敷地の約半分を占める醸造関係の建物は、塩納屋、容器庫、穀庫、洗い場、作業場、麹室部、仕込蔵及び主屋内の詰め場からなる。昭和57年(1982)に廃業以降、仕込蔵や塩納屋などが失われ、現在は主屋とそれに接続する倉庫と座敷、文庫蔵1棟が残されている。現存する建物について、伝統的建造物群保存対策調査報告書によると、「全体的な構造から細部に至るまでよく保存されており、建築年代はそれほど古くはないが、建築的な規模や質、あるいは保存状態の良さや改造の少なさから見て湯浅における代表的な町家建築と位置づけることができる。残された建物だけでも今後の適切な保存が望まれる。」と記述されている。平成29年10月に町所有となった。



豊岡市出石重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念シンポジウム



去る平成 29 年 10 月 9 日 (土) 兵庫県豊岡市において、重伝建選定 10 周年記念シンポジウムが開催され、木下会長が出席しました。地元住民や建築技術者が協働して作り上げた出石のあゆみが紹介されていました。

湯浅
まちなみの会

まちなみ祭市 ～湯浅であそぼら～

11月11日(土)・12日(日)伝建地区内各所において、イベントを開催いたします！また、12日(日)はギョギョっとお魚まつりとの同時開催となっています。楽しいお祭りにぜひお越しください！たくさんの方のご来場、お待ちしております。



湯浅町からのお知らせ 11月18日(土) 町民歴史講座を開催します

現在行われている湯浅城跡をはじめとした中世城郭調査の中で、有田地方に残る石造物から湯浅一族の交易や、影響を及ぼした範囲などを探る調査が進められています。今回の歴史講座では、調査の経過報告とこれまで見てきた成果について講演していただきます。何気ない「石」が静かに語る歴史物語に、ぜひご期待ください。

日時 11月18日(土) 午後2時～午後3時30分
会場 湯浅町役場3階なぎさホール
演題 「石造物から見た湯浅氏」
講師 元興寺文化財研究所 主任研究員 佐藤 亜聖 氏
(有田郡市中世城郭調査指導委員会 委員)



まちの話

古民家宿泊施設「千山庵」がオープンしました！



9月28日(木)に宿泊施設として整備を行っていた建物が「千山庵(せんざんあん)」としてオープンしました。運営をする株式会社とち亀物産によるオープニングセレモニーには多くの報道陣が詰めかけました。午後からは一般向け内覧会が行われ、千山庵の門出に多くの方が関心を寄せていました。(千山庵ホームページ <https://www.senzanan.com>)



顯國神社秋季例大祭

当日は雨が心配されましたが、雨が降ることもなく、例年通り町内各区から出される元気いっぱいの子ども神輿、神社の神輿(担ぎ手は湯浅中学校バスケットボール部員)、三面獅子が街中をにぎわせました。

